

日本社会福祉学会中部地域ブロック部会 2025 年度春の研究例会
開催要項(第 2 報)

1. 日時

2025 年5月 18 日(日) 10:00~16:00

2. 会場

同朋大学:名古屋市 中村区 稲葉地町 7-1 (変更になる場合があります。4 月中旬にお送りする「第 3 報」にて確定します)

3. プログラム

(1) 第 1 部:自由研究発表(10:00-11:40) *1 発表につき報告 15 分、質疑 10 分

第 1 分科会

- 10:00-10:25 張佳晨・三輪まどか「中山間地域における介護の現状と地域包括ケアシステムの課題」
10:25-10:50 小園明日香・出口倅多・篠原拓也「いわゆる「ホス狂い」女性に対する支援の必要性」
10:50-11:15 坂倉智大「杉田直樹の社会事業に対する姿と思想—八事少年寮の設立と運営に焦点を当てて—」
11:15-11:40 中村征人「精神衛生相談員制度における国及び都道府県の役割期待と初期精神衛生相談員の役割獲得—昭和 40 年改正精神衛生法時期の愛知県に着目して—」

第 2 分科会

- 10:25-10:50 井上務「特別養護老人ホームにおける新任期および中堅・ベテラン期介護職員のキャリアステージごとの比較からの考察」
10:50-11:15 澤田佳代「昭和初期における知的障害者の社会的包摂の条件—山下清と制約のなかの自由—」
11:15-11:40 大賀有記「ソーシャルワーカーのセルフケアに求められる要素—専門職としての自立を支援するスーパービジョンとの関係に着目して—」

(2) 総会:中部地域ブロック 2025 年度総会(11:45-12:00)

<議題>①2024 年度事業報告、②2024 年度決算報告、③2025 年度事業計画、④2025 年度予算、⑤2025 年度中部地域ブロック幹事会の構成員の報告、⑥その他

(3) 第 2 部:シンポジウム(13:00-16:00)「自己決定・意思決定支援の在り方を問う」

13:00-13:05 趣旨説明

13:05-14:15 基調講演:「自己決定・意思決定支援のあり方を問う」

・講師:鈴木敏彦氏(淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授)

14:15~15:20 パネルディスカッション

・パネリスト:宇津野靖子氏(一宮市立市民病院医療ソーシャルワーカー・愛知県医療ソーシャルワーカー協会副会長)

・工藤明人氏(認定 NPO 法人 東三河後見センター代表理事)

・渡辺竜夫氏(社会福祉法人新城福社会 業務執行理事)

15:30~16:00 コメンテーター・コーディネーターによるコメント、全体まとめ

・コーディネーター:柴田謙治氏(金城学院大学 教授)

・コメンテーター:鈴木敏彦氏(淑徳大学副学長・高等教育研究開発センター教授)

4. 合理的配慮について

要約筆記・手話通訳等を必要とされる方は、ご遠慮なくご相談ください。主催者から折り返しご連絡をさせていただきます。

5. 申込方法

下の QR コードまたは URL にアクセスし、申込フォームでお申し込みください(4 月 28 日締切)

<https://forms.gle/Xkiub8UJNteh3Ayg8>



6. 問合せ先

日本社会福祉学会中部地域ブロック担当理事 うつのみや 宇都宮みのり(愛知県立大学) utu@ews.aichi-pu.ac.jp